

SCHOOL INTERVIEW!

登校インタビュー

ミュージシャン
ヤバイTシャツ屋さん
もりもりもとさん
浜松学芸高校卒

ヤバい国民的バンドを目指して。

キャッチーなサウンドとユニークな歌詞、楽しいパフォーマンズが幅広い世代にウケているスリーピースロックバンド「ヤバイTシャツ屋さん」。ドラム担当のもりもりもとさんは、浜松出身。「浜松市やらまいか大使」にも選ばれ、錦を飾るべく母校の浜松学芸高校を訪ねた。



ヤバイTシャツ屋さん

スリーピースロックバンド、通称「ヤバT」。2013年10月結成。メンバーは、こやまたくや（ギター、ボーカル）、しばたありぼぼ（ベース、ボーカル）、もりもりもと（ドラムス、コーラス）。メロコア（パンクロックの一種）サウンドと関西弁の歌詞が「一度聴いたら忘れられない」とツイッターなどで人気を呼び、2016年にメジャーデビュー。大型フェスへの出演やタイアップソングを手掛けて話題を集める。

22歳はまだ若いし、何度だってやり直せる。

僕はドラムを小学校3年生から習い始めて、中学校では吹奏楽部に入ってトランペットもやっていました。当時の積志中学校の吹奏楽部は女子50人に対して男子部員がなんと僕だけだったんですよ。あの環境での3年間はなかなかしんどかった。その反動で、高校に入学してP音（ポピュラー音楽部）に入部してからは、かなりハッチャケました（笑）。そういえば、当時のP音は入部希望者があまりに多かったので、面接試験があったんですよ。僕は何としても合格したかったので、顧問の先生に一生懸命プレゼンをした結果、合格できたんです。

大阪芸術大学に入学後もバンドサークルに入部したんですが、やっぱり高校時代のバンドとは雰囲気まるで違いましたね。僕はそれまで洋楽が好きだったんですけど、邦楽を好きな部員が多くて、アイドルソング

たし、デビューしたらいっぱい曲を作らされて音楽嫌いになったらどうしようっていう心配もあったし。卒のタイミングは人生のターニングポイントだと勝手に決め込んでいて、そこで失敗したら終わりだっていう不安も大きかったです。

そんなときマネージャーさんから、「22歳って君が思っているより若いし、何度でもやり直せる。可能性はいくらでもあるよ」って言われて、肩の荷がすつと下りたんです。それでバンドの道を選びました。

両親は、僕がそんなに悩むのを不思議がって、「好きなようにやりなよ」と応援してくれていました。メンバーの3家族とも今でもすごく応援してくれていて、ライブもめっちゃよく来てくれます。

やらまいか大使として 浜松で凱旋ライブを!

「ヤバT」を結成して今年で7年になりますが、解散危機はまったくなかったです。でも、ライブハウスに出始めた頃はイロモノ扱いされて、一部のバンドや観客の人たちの反応は厳しかったですよ。SNSで僕らをディスる人もいたりして。コンテストで最終審査に残った時も、「ヤバTが優勝したら日本の恥だ」って

グをコピーして女性部員が踊ったりとか、何でもありな感じだった。でも、音楽の幅が広がったのは、サークルのおかげです。

「ヤバイTシャツ屋さん」という名前の由来は、サークルの1年先輩だったボーカルのこやまが、「ヤバいTシャツ屋さんに行こうよ」という先輩の誘いの言葉を聞いて、その語感の良さにほれ込んだから。その後、僕とベースのしばたが部屋に呼ばれて、「ヤバイTシャツ屋さんって言うバンドをやりたいから一緒にやって」と言われて。僕はバンド名が先に決まっていたのが何だか嫌で（笑）、「おふざけバンドですか」とか「僕にできますかね」みたいな塩対応でした。結局、「やります」とは返事していません。今に至りませんが、正式なメンバーと言えるのかどうかわかりません（笑）。

大学卒業の前に、そろそろ就活をしようかと思っていた頃、デビューのお話を頂きました。でも、僕は頭が固くて心配性なので、バンドを続けるか就職するかで気持ちが揺れていました。

だって、ミュージシャンでは食っていけないっていうイメージがあったんですけど、そろそろ就活をしようかと思っていた頃、デビューのお話を頂きました。でも、僕は頭が固くて心配性なので、バンドを続けるか就職するかで気持ちが揺れていました。

今でも大変なことはもちろんあるけど、すごく楽しくやっています。おかげさまでここ数年、ファンの年齢層が広がってきて、親子でライブに来てくれる人も増えたんですよ。浜松のお客さんはライブでも意外と控え目なんですよね。「私、浜松です!」「同じ高校です」って、もっとガンガン言ってほしいな。

僕は昨年、「浜松市やらまいか大使」に選んでいただきました。ずっとなりたいと思っていたので本当にうれしかったです。やらまいか大使の抱負としては、いつか浜松で大きなライブを開催したいなって思っています。

バンドで結成当初から目標にしているのは、紅白歌合戦です。紅白出場は国民的バンドの証。そこでみんなに愛されるようなステージを披露しつつ、ヤバTの沼に引きずり込んで、本来のディーブな楽曲やパフォーマンスを知ってもらえたら最高ですね。



もりもりもと

1993年生まれ。浜松学芸高校を卒業後、大阪芸術大学に入学し、バンドサークルで、こやまたくや、しばたありぼぼと3人で「ヤバイTシャツ屋さん」を結成。ドラムとコーラスを担当。

取材当日は、ポピュラー音楽部の顧問の先生と後輩たちが緊張した面持ちでもりもりもとさんを出迎えた。取材後の自撮り写メに笑顔で納まる後輩たち。